

犬糸状虫症予防・消化管内線虫駆除剤

貯法
室温保存

動物用医薬品 要指示医薬品：注意-獣医師等の処方せん・指示により使用すること

日本標準商品分類番号 879759

ミルベマイシンA顆粒10

T05

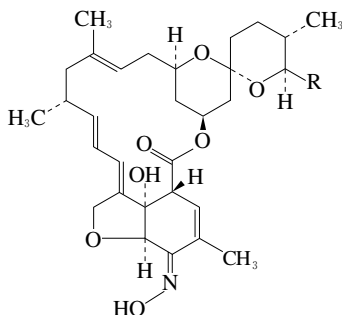
MILBEMYCIN A GRANULES 10

ミルベマイシン オキシム製剤

本剤は三共が開発したミルベマイシン オキシムの経口投与用顆粒剤です。ミルベマイシン オキシムは *Streptomyces hygroscopicus* subsp. *aureolacrimosus* の産生する16員環ラクトン構造を有するミルベマイシンA₄およびA₃の化学的誘導体であります。本剤は1ヵ月1回の経口投与で犬糸状虫症を予防し、且つ、犬消化管内線虫に対しても強い駆虫作用を有する薬剤です。

【組成・性状】

本剤は、1g中ミルベマイシン オキシム10mgを含有するうすい赤色の顆粒剤である。ミルベマイシン オキシムは次の化学構造式で示される白色～帯黄白色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがある。本化合物はアセトニトリル、メタノール、エタノール(99.5)、酢酸エチル又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水にほとんど溶けない。



R=CH₂CH₃ : ミルベマイシンA₄オキシム(80%以上)
R=CH₃ : ミルベマイシンA₃オキシム(20%以下)

【効能又は効果】

犬：犬糸状虫症の予防
犬回虫及び犬鉤虫の駆除
犬鞭虫の駆除

【用法及び用量】

犬糸状虫症の予防
毎月1回、1ヵ月間隔で体重1kg当たり顆粒0.025-0.05g(ミルベマイシン オキシムとして0.25-0.5mg)を経口投与する。
投与期間は、蚊の発生から蚊の発生終息1ヵ月後までの間とする。

犬回虫及び犬鉤虫の駆除
体重1kg当たり顆粒0.025-0.05g(ミルベマイシン オキシムとして0.25-0.5mg)を1回経口投与する。

犬鞭虫の駆除
体重1kg当たり顆粒0.05-0.1g(ミルベマイシン オキシムとして0.5-1.0mg)を1回経口投与する。

【使用上の注意】

※※[一般的注意]

- (1)本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (3)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

※※[使用者に対する注意]

誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

※※[犬に対する注意]

1 制限事項

- (1)本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。
- (2)本剤投与前に必ず血液検査を行い、ミクロフィラリアがないことを確認した後、投薬を行うこと。
- (3)犬糸状虫感染犬に本剤を投与する場合は、成虫およびミクロフィラリアを駆除するなど適切な処置を行い、投薬を行うこと。
- (4)ミルベマイシンオキシムの試験において、コリー犬及びその系統の犬種は他の犬種に比べ、安全域が狭いことが示されていることから、これらの犬種に対しては、用法・用量を厳密に守ること。

2 副作用

- (1)副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2)投与犬において、ときに、下痢、軟便が認められることがある。
- (3)犬糸状虫感染犬に投与した場合、元気消失、食欲不振、嘔吐、呼吸速迫、大静脈症候群等の症状が現れることがある。

※※[取扱い上の注意]

使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

※※[保管上の注意]

- (1)本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- (2)小児の手の届かないところに保管すること。
- (3)誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

【包装】

ミルベマイシンA顆粒10 100g (瓶)

本剤以外には次の製剤があります。

顆粒	ミルベマイシンA顆粒 (1g中ミルベマイシン オキシム2.5mg含有)
錠剤	ミルベマイシンA錠1.25 ミルベマイシンA錠2.5 ミルベマイシンA錠5 ミルベマイシンA錠10

※製造販売業者

ノバルティス アニマルヘルス株式会社
東京都港区西麻布4丁目12番24号

ノバルティスカスタマーサービス TEL 0120-162-419
月～金 9:00～12:00, 13:00～17:00 (祝祭日除く)